

# 兵庫県議会報告つづき

また、引き続き「地域コミュニティの中心」としてその役割を果たしていくためには、あらゆる地域課題に対して商店街全体で連携した取り組みを進めていくことが必要であり、商店街の中にある事業者は、商店街に入っているのにもかかわらず、商店街から有形無形の恩恵も受けていないはずで、商店街の一人としての自覚のもと、商店街に加入し、商店街活動に参加することは極めて重要なことと思います。

県においては、地域のにぎわい創出、特色ある商店街づくりなどの強化を図るために「商店街活性化事業」や「空き店舗活用支援事業」に取組むなど、地域商業の活性化に取組んでおられますが、今後、個々の商店が自らの創意工夫と自主的な努力を前提としつつも、商店会の組織基盤の強化など、面としての健全な発展に対して、助成のみではない施策を展開することが必要だと考えています。

## 5 農業を支える裾野の拡大について

質問の五番目は、農業を支える裾野の拡大についてであります。

我が国農業は、農産物価格の低迷、農業従事者の高齢化・減少などにより、農業生産の減退、遊休農地の増大のみならず、国内農業生産の低下と農産物輸入の増大などによる食料自給率の低下、国土保全機能の低下など極めて困難な状況にあります。

こうした中、本年度より「認定農業者」や「一定の要件を満たす集落営農等」を担い手と位置づけ、施策の重点化・集中化を図ろうと

する「品目横断的経営安定対策」が実施されています。

本対策は水田農業の基幹部分を担う「担い手」を育成しようとするもので、その政策目的は理解しますが、農業従事者の減少が著しい中で、この方向性のみが果たして農業再生のための有効な対策となりうるのかは、議論の分かれるところだと思います。

現在、県においては、新規就農者の五年後の年間所得が二百万円となるよう目標を定めて、就業支援制度の貸付金制度を充実させると、就農支援に取組んでおられますが、これだけでは本格的な担い手を育成することは難しく、今後、より多くの家庭菜園や市民農園といった趣味から本格的な就農者育成を強化していくことが大事であると考えます。

また、本格的に農業に取組む方のみならず例えば、アマチュアとプロフェッショナルの間にあるセミプロの分野が生活しても成り立つのであれば、農業を支える裾野もさらに拡大するのではないかと考えます。非農家から農業を兼業する、いわゆる「逆兼業農家」のすめともいえるものです。

このようなことを実現していくには、「農業体験」や「農山漁村との交流」などを通して基礎から、就業に必要な農業技術や農産加工技術までそれぞれ目的に合わせて知識や技術を学んでいける機会を増やしていくことが重要であり、そのような観点からは、昨年十一月にオープンした「兵庫県農生活センター」の果たすべき役割も大きいと思っております。将来は、農家と農に取組みたい人との遊休農地マッチングを目指すなど、その機能の拡大も期待すると同時に、都市圏に極めて近く農業振興地域で、県の遊休資産を抱える宝塚・西谷地区にプランチを設置するなどその役割・成果を全県に拡げることが大切だと思っております。将来、農業をしてみたい「」当面、今の仕事を続けながら、休日

休日または夜間でも農業の勉強体験をしてみたい。というニーズに確実に応え、農業に関する正確な情報や技術、知識を提供しながら、そこから就業へと誘導していく、このような取り組みを都市部や都市近郊から広く展開し、農業に取り組み裾野が拡大していけば、農業に取組みたい人の農地利用が進み、食料自給率や遊休農地の問題解決の一助ともなると考えます。

そこで、今後、農業や農村の活性化に向けて、本格的に農業を取り組む人をはじめ、農業を支える裾野を拡大するために、どのような取組んでいくのか、県当局の見解をお伺いいたします。

## 6 大阪国際(伊丹)空港の更なる利便性等向上について

質問の六番目は、大阪国際空港の更なる利便性等向上についてであります。

近年、ようやく観光の重要性が認識され、日本の各地方では、観光客の受け入れに知恵を絞っているところでもあります。

わが県においても平成二十一年春、デザイン・イン・キャンパインの実施が計画されていますが、益々観光客の争奪合戦が繰り広げられようとしています。

そんな中、日本へ訪れる外国人観光客の交通手段として、関西国際空港が開港し、大阪国際空港から国際線が飛ぶようになって、十三年になり、大阪国際空港の今後のあり方について、これまで県議会でも何回も質問があがっております。

このような状況の中、十月十二日に、「国土交通省は、現行の空港種別を全面的に見直すため、空港整備法の改正案を来年の通常国会に提出する方針を打ち出した。」旨の報道がありました。

現在一種の五空港のうち、大阪国際空港だけについては、基本施設整備費の三分の一を新たに地元自治体の負担とする内容であり、現行の「第二種A」に準じた負担割合とな

るため、事実上、「第一種」からの格下げになるとも報じられています。

また、独立行政法人国際観光振興機構の訪日外国人客訪問地調査等からの推計によれば、大阪府を訪問された外国人の訪問率は、二十三七％、京都府は二十三％に対し、兵庫県を訪れた外国人の訪問率はわずか七四％であります。

訪日率は大阪、神戸はもちろんです、京都にもアクセスが便利な大阪国際空港をさらに活性化させ、外国人特に「アジア」の方が気軽に兵庫県を訪れていたためにも、国内便のみならず、せめてアジア便だけでも飛ばないか、と思っております。そして、これが、長年国際空港として親しまれた多くの県民の声でもあると思えます。

県議会においても、大阪国際空港の活用等については、これまで多くの質問が為されてきましたが、改めて、大阪国際空港の利便性向上など更なる充実、活性化に向けて、どのように取組んでいけるのか、知事の決意をお伺いいたします。

以上が私の質問ですが、最後に、日本の資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一氏は「道徳経済合一説」を掲げ、論議を振る所に、倫理と利益の両立によって経済を発展させ、利益は国民全体を豊かにするために、社会に還元することを説きました。著しい社会状況の変化の中、企業においても利益追求のみに走る中で、今一度日本の資本主義の父、渋沢栄一の思想を思い出さねばなりません。

また、渋沢栄一は個人の生き方も述べられ、私は著書から「忠恕知略」という言葉をいただき、座右の銘として大事にしています。

利己と無関心と利金に覆われた昨今、より良い社会への変革のために、誠実に相手の立場にたって物事を考え、生き活きて、自律心を持った自由な個が、積極的に社会に関わる、ことができる「公け」をつくらなければと考えます。――

十二月三日 質問時間約三十分 全文

# 県政報告書

## 県民主権社会を宝塚から！！ 号外

民主党プレス民主編集部（兵庫6区宝塚版）  
〒665-0035 宝塚市逆瀬川 2-6-2-2F TEL:0797-72-2130 http://www.jito.jp



### Topic

- ☑ 兵庫県議会報告 …………… 1・2・3
  - いろいろ順一 一般質問全文
  - いろいろ順一「初質問」特別号
- ☑ Blog より（表紙面）

# 兵庫県議会議員 いろいろ順一

## Blogより

2007年11月19日

### 大阪市長選

大阪市長選に元毎日放送のアナウンサーの平松邦男氏が当選しました。これまで首長選挙といえば、与野党相乗りの形が多く、今回の選挙は民主党独自候補として対決姿勢を打ち出した選挙となりました。大阪市の抱える様々な問題は、疲弊した地方の象徴をイメージさせますが、困難な課題に「市民パワーの結集」「徹底的情報公開」など、訴えられてこれらたことを是非実現させて頂きたいと思えます。土曜日は、民主党兵庫県総支部連合会第10回大会が開催されました。来るべき衆議院議員選挙に対して、予定候補の紹介がなされました。兵庫県全12区のうち残りわずか空白区の人選もまもなく発表されることと思えます。ともあれ、政権交代で国民の生活を守る政治を各級議員連携し、推し進めて参ります。ちなみに、私もこの大会で民主党県連の幹事長補佐という役を頂きました。



いろいろ順一HP  
ブログ更新！随時！！  
携帯でも閲覧できます  
http://jito.jp

# 衆議院議員 市村浩一郎 (兵庫6区選出) 政権交代実現へ！！